

●個別学習 ■児童生徒実践型

実践タイトル DSで都道府県名を覚えよう

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

その他(教育用DS)

・一人ひとりが理解の度合いに応じて、都道府県名を覚えることができる。

その他(教育用DS教室システム)

・オリジナルの問題を作ることもでき、一人ひとりが進んで学習に取り組むことができる。

参考にしてほしいポイント

- ・教育用DS教室システムのオリジナル問題を活用し、一人ひとりが学習時間の導入の5～10分程度の時間でも、それぞれの課題に応じてステップアップしながら、都道府県名を覚えるために集中して学習を進めることができる。
- ・電子黒板に、その問題の進行状況を提示して、児童それぞれに指導することができる。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入 0 10	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標を確認する。 ・教育用DSのオリジナル問題に取り組む。 ・電子黒板で進行状況を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板 ・実物投影機 ・教育用DS教室システム ・教育用DS (写真1～3)
展開 10 35	<ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちの県についての学習を進める。 	
まとめ 35 45	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめの学習も兼ねて、教育用DSのオリジナル問題に取り組む。 ・電子黒板で進行状況を確認する。 	



写真1：4択問題に取り組む



写真2：同じ問題に何度も取り組むことができる



写真3：実際に地図帳を見て確かめる

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・教育用DSが一人1台あることにより、学習に取り組む児童は、素晴らしく集中することができる。
- ・機器に対するスキルも難しくなく、児童相互に情報を交流しながら、学習を進めることができる。
- ・問題がステップアップする形で作られており、限られた時間で既習学習の習得を自分で確認することができる。

活用効果

評価の観点

・社会的事象への関心・意欲・態度

具体的変容

・一人1台の教育用DSで学習することにより、集中して問題に取り組め、さらに理解に応じて進めることができた。

実践の手応え

- ・教育用DSに対する興味が強く、問題に取りかかり始める一瞬に、集中する様子が見られ、さらに、それが持続することが素晴らしいと感じた。